



おうめし ねんご
青梅市の20年後はどんなまち？

おうめし としけいかく
— 青梅市都市計画マスタープラン こども版 —
ばん



1. 青梅市はこんなまち



いま おうめし すがた こうもく
みりょく かだい
今の青梅市のまちの姿を7つの項目にまとめたよ！ どんな魅力や課題があるかな？

じゅうたくち 住宅地

し ひろ はんい じゅうたく とく し ひがし
市の広い範囲に住宅があり、特に市の東
がわ じゅうたくち ひろ 側に住宅地が広がっています。

す ひと こうれいか すす
⇒住んでいる人の高齢化が進んでいるの
あんしん く かんきょう
で、みんなが安心して暮らせる環境づく
おこな ひつよう
りを行う必要があります。

こうつう 交通

おうめせん ろせん うんこう
JR青梅線や路線バスなどが運行しており、
こうつうきかん しないがい い き
交通機関で市内外を行き来できます。

でんしゃ りょう ちいき
⇒電車やバスを利用しづらい地域がある
きがる いどう
ため、だれもが気軽に移動できるように
ひつよう
する必要があります。

しょうぎょう 商業

おうめえき ひがしおうめえき かべえき しゅうへん おお
青梅駅・東青梅駅・河辺駅の周辺や大きな
どうろぞ みせ
道路沿いにはたくさんのお店があり、にぎ
わいがあります。

じんこう へ りょうしゃ へ みせ し
⇒人口が減り、利用者が減ると、お店や施
せつ かのうせい
設がなくなっていく可能性があります。



おうめし
青梅市のまちなみ

さんぎょう 産業

し ひがしがわ ちゅうしん こうじょう かいしゃ
市の東側を中心に、工場や会社がたくさん
おお ひと はたら ばしょ
あります。多くの人が働く場所となっています。

わか ひと はたら ばしょ もと おうめし
⇒若い人たちが働く場所を求めて青梅市を
はな こうじょう かいしゃ
離れることがないように、工場や会社が
かんきょう まも ひつよう
ある環境を守っていく必要があります。

さいがい 災害

おおあめ どしゃさいがい じしん はっせい
大雨や土砂災害、地震が発生したときに、
いえ みず はい たお かのうせい
家に水が入ったり、倒れたりする可能性が
あります。

おおあめ どしゃさいがい じしん しぜんさいがい
⇒大雨や土砂災害、地震などの自然災害に
つよ つく ひつよう
強いまちを作る必要があります。

しぜん 自然

たまがわ ぞ みたけさん ゆた しぜん
多摩川沿いや御岳山などに豊かな自然
し しげん
があり、市のかけがえのない資源となっています。

ゆた しぜんかんきょう せつきょくてき まも
⇒豊かな自然環境を積極的に守ることで、
かんきょう つく
みどりがあふれる環境を作ります。

ふうけい 風景

しない さまざま ばしょ ゆた しぜん ふる
市内の様々な場所で、豊かな自然や古く
たてもの ぎょうじ
からのまちなみ、建物、行事があります。

れきし ぎょうじ う つ しょう
⇒歴史あるまちなみや行事を受け継ぎ、将
らい きょうりょく まも
来につなぐために、みんなで協力して守
ひつよう
る必要があります。



2. これからの中学生 おうめし



ねんご おうめし めざ すがた
20年後の青梅市が目指すべき姿をまとめたよ！

しんりん 森林やまちなかのみどりを生かし
ながら、自然にふれあえる環境づくりに取り組みます。

くるま 車がなくても移動しやすいように
に、電車やバス、新しい公共交通などで自由に行き来できる環境づくりに取り組みます。

おうめえき ひがしうめえき かべえき
青梅駅・東青梅駅・河辺駅の
周りや大きな道路沿いに便利な施設を集め、にぎわいのある空間づくりに取り組みます。

いえ 家がたくさん建つていると
ころは住宅地としての環境を
守っていきます。

さいがい 災害が発生しても、みんなで
協力しながら安心して暮らせる
環境づくりに取り組みます。

じゅうたく 住宅があるエリアは地域の人とのつながりを
大事にしながら、住みやすい環境づくりに取り
組みます。

くるま 古くからのまちなみ、建物、行事をみ
んなで協力しながら守っていきます。

くるま ひと あんしん いき
車や人が安心して行き来できる
道路空間や歩道空間を作つ
ていきます。

こうじょう かいしゃ た
工場や会社がたくさん建つて
ところはたくさん的人が働く環境を
守っていきます。



アンケート
結果(中学生)

「将来の青梅市がどのようになっていると良いか」という問い合わせに対して、「居心地のよい住宅地があるまち」、「買い物が便利にできるまち」、「森や川などの自然が豊かなまち」が多かったよ！

3. 青梅市が目指す方向性

(1)にぎわい・住むための環境について

今の青梅市

お店や便利な施設を利用することが減って、施設自体がなくなっていく可能性があります。



農業や林業に関わる人が減ることで、住む人も減っていく可能性があります。



遊具などが古くなることで、公園が使われる回数が少なくなる可能性があります。



必要なこと

多くの人が訪れる場所に、お店や便利な施設が建ちやすい環境を作っていくことが必要です。

農地や森林の環境を守りながら住みやすい住宅があるエリアを作っていくことが必要です。

みんなが利用しやすい公園を作っていくことが必要です。

将来的の青梅市

青梅駅・東青梅駅・河辺駅周辺や大きな道路沿いに多くのお店や便利な施設を集め、にぎわいのある空間を作ていきます。

農業や林業に関わる人を増やしながら、空き家の活用などにより、住宅があるエリアの環境を守っていきます。

安全で快適に過ごせる公園にするため、計画的に設備などを新しくしたり、だれもが利用できるような工夫をしていきます。



アンケート
結果(中学生)

「青梅市のまちづくりに関して思っていること」という問い合わせに対して、ショッピングセンターや遊べる施設を求める意見が多かったよ！

3. 青梅市が目指す方向性

(2) 道路や交通について

今の青梅市

歩道に電柱や段差があり、車いすやベビーカーなどが利用しづらい道路があります。



路線バスが近くを走っておらず、車以外で気軽に移動できない場所があります。



交通事故が多く発生している場所があります。



必要なこと

だれでも安心して利用できる道路を作ることが必要です。

だれもが気軽に移動できるようにするこ
とが必要です。

交通事故が少ないまちづくりをこれからも進めることができます。

将来の青梅市

段差のない道路や電柱のない道路など、歩きやすい道路づくりを進めていきます。

使いやすい路線バスのあり方や、新しい移動方法を作ることで、だれもが気軽に移動できるようにします。

道路に案内表示をつけるなど、交通事故が起きにくい道路づくりを進めていきます。



アンケート
結果(中学生)

「青梅市のまちづくりに関して思っていること」という問い合わせに対して、「自転車が走りやすい道」や「歩きやすい道」がほしいといった意見や、「電車やバスが使いやすいまちにしてほしい」といった意見があったよ！

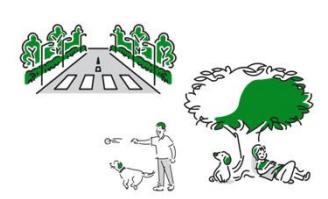
3. 青梅市が目指す方向性 (3)自然環境について

今の青梅市

青梅市の60%以上が山や川などの豊かな自然であり、みどりの宝庫となっています。



まちなかの公園
や道路などには、
たくさんのみどり
があります。



必要なこと

豊かなみどりである山や川などをこれからも守っていくことが必要です。

自然を守っていくためには、自然と親しめる環境や自然を知る環境が必要です。

まちなかのみどりを生かしながら、みどりに触れ合える環境が必要です。

将来の青梅市

みどりを守るルール作りやボランティアとの協力を進めながら、みんなが癒され、自然に触れ合える環境を守っていきます。

身近にあるみどりを自然観察や学びの場として使い、自然環境の大切さを伝える活動を進めます。

まちなかの公園や道路にあるみどりを生かし、みどりあふれる快適なまちづくりを進めます。



多摩川沿いの豊かなみどり



自然環境を学ぶ機会



みどりあふれる空間



アンケート
結果(中学生)

「住んでいる地域の良いところは」という問い合わせに対して、「森や川など自然の親しみやすさ」や「公園の遊びやすさ」といった回答が多くかったよ！

3. 青梅市が目指す方向性

(4) 安全・安心のまちづくりについて

今の青梅市

家やビルが倒れるほどの強い地震が起きる可能性があります。



大雨や土砂災害で被害が予想されているところがあります。



管理されていない空き家が増えることで、放火などの犯罪が増える可能性があります。



必要なこと

地震や大雨による災害に負けないまちづくりを引き続き進めることができます。

空き家をなくしたり、活用することで犯罪や災害への影響を減らす必要があります。

将来的な青梅市

地震などによって、建物が倒れたりせず、火事が燃え広がらないまちをつくっていきます。

土砂災害が発生しても安全に避難できるような対策や、川から水があふれたり、道に水がたまるなどを減らすための対策を進めています。

古い空き家を取り壊す支援のほか、管理をしやすくするための支援を進めていきます。



防災訓練の様子



土砂災害対応訓練の様子



空き家を活用したお店



アンケート
結果(中学生)

「青梅市のまちづくりに関して思っていること」という問い合わせに対して、「安全に避難できる環境にしてほしい」や「自然災害が起きたときに安全に暮らせるまちにしてほしい」といった意見があったよ！

3. 青梅市が目指す方向性

(5) 働く場所・地域の資源・観光について

今の青梅市

市の東側に工場や会社がたくさんあり、多くの人が働いています。



山と川に囲まれた風景は青梅市を代表するものとなっています。



多摩川や御岳山などは、市外から多くの人が観光に訪れています。



必要なこと

まちにぎわいを生むために、働く人が青梅市に集まるよう、より多くの働く場所が必要です。

青梅市を代表する風景やそれを活用した行事を残していくため、みんなで協力することが必要です。

多くの人が訪れたいたいと思えるような魅力でいっぱいにすることが必要です。

将来の青梅市

工場や会社を呼び込むことで、より多くの人が働く場所を作っていきます。

豊かな自然に囲まれた風景をみんなで協力して守り育てる活動を盛り上げます。

多摩川や御岳山などのみどりを生かし、より多くの人が観光で訪れる環境を作っていきます。



アンケート
結果(中学生)

「青梅市が好きな理由」という問い合わせに対して、「良好な環境が良いから」が最も多かったほか、「青梅市のまちづくりに関して思っていること」という問い合わせに対して、「有名な会社があると良い」といった意見があったよ！

ねんご おうめし 4. 20年後の青梅市がどのようなまちになつてはいるか、考えてみよう！

す かんきょう
1. 住むための環境をよくするためには？



とほ じてんしゃ あんしん いどう
2. 徒歩や自転車、バスなどで安心して移動するためには？



やま こうえん まも
3. 山や公園などのみどりを守るためには？



ひと おし
アイデアがある人はホームページで教えてね！

<https://logoform.jp/f/ruWag>



じしん おおあめ さいがい つよ
4. 地震や大雨など災害に強いまちにするためには？



おお ひと はたら おとず おも
5. 多くの人に働きたい、訪れたいと思ってもらうためには？



いま ようす おうめし めざ しょうらい
今このまちの様子から青梅市が目指す将来がわかつたね！



ねんご
20年後どんなまちになつてほしいかな？





青梅市都市計画マスタープラン こども版
令和7年12月 発行

発行 青梅市
編集 青梅市都市整備部都市計画課
〒198-8701 東京都青梅市東青梅1-11-1
電話 0428-22-1111（代表）
青梅市ホームページ <https://www.city.ome.tokyo.jp>